

教養文化研究所所員 2012年度業績一覧

青山 征彦

【著書】

茂呂雄二・有元典文・青山征彦・伊藤崇・香川秀太・岡部大介（編）『ワードマップ 状況と活動の心理学 コンセプト・方法・実践』（2012年5月，新曜社） 担当部分は「医療の実践：複雑さと多様さを解きほぐす」

日本心理学会編『認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎』（共著）（編集中，金子書房） 担当部分は「8章 アフォーダンス：「またぐ」と「くぐる」」

【学術論文】

青山征彦「エージェンシー概念の再検討：人工物によるエージェンシーのデザインをめぐって」（2012年6月，『認知科学』19巻2号，166-174頁）

【口頭発表】

青山征彦・新垣紀子「野島久雄の認知工学：これまで，そしてこれから」（2012年7月，日本認知科学会 学習と対話研究分科会第47回研究会『日常生活の認知工学：野島久雄の思い出とともに』，於 成城大学）

青山征彦「日常生活のポリティクス：エージェンシーと境界生成をめぐって」（2012年7月，日本認知科学会 学習と対話研究分科会第47回研究会『日常生活の認知工学：野島久雄の思い出とともに』，於 成城大学）

青山征彦・香川秀太「境界をめぐるポリティクス：越境論の現在」（2012年9月，日本質的心理学会第9回大会 準備委員会企画シンポジウム『越境のデザイン：組織を超えた協働へ』，於 東京都市大学）

青山征彦「境界をめぐる実践をどのように読み解くか：状況論の立場から」（2012年11月，日本教育心理学会第54回大会 自主企画シンポジウム『複数のコミュニティ間の境界をいかに乗り越え（越境し）分析するか：状況論・活動理論の実際（2）』，於 琉球大学）

青山征彦「ワークショップにおける学習」（2012年12月，日本認知科学会第29回大会 ワorkshop『ワークショップにおける学習』，於 仙台国際センター）

【社会活動】

瑞穂町立瑞穂第二中学校 校内研修会講師（2012年6月，および10月）

彩ふるさと喜樂学「フィールドワークの楽しみ」（2012年9月）

【現在の研究テーマ】

コミュニティの中での学びや熟達, メディアの使用について

明石 真和

【社会活動】

日独協会機関誌 *Die Brücke* インタビュー「林家正楽師匠 缺が切り出す世界」

取材コーディネーター兼執筆協力 2012年10月号

講演「ドイツサッカー物語」 2012年12月14日（南山大学外国語学部ドイツ学科主催）

【現在の研究テーマ】

ドイツ語学, ドイツ文化

秋池 宏美

【学術論文】

「教育法研究とジェンダー—子供の人権論におけるジェンダー平等の視点の意義—」駿河台大学比較法研究所紀要『比較法文化』第20号

「公教育制度における子供の性的人権の保護・制約をめぐる諸問題」『駿河台法学』第26巻第1号

【現在の研究テーマ】

子供の性的人権の研究

天野 宏司

【著作】

福生市教育委員会編『福生の砂利線・渡船』福生市教育委員会, 66p.うち, 砂利線(pp.26-45)を担当

【学術論文】

「秩父・新観光戦略—自転車とアニメでまちづくり—」地図中心483, pp.21-23.

【社会活動】

福生市文化財調査指導員

秩父アニメツーリズム実行委員会委員

秩父サイクルトレイン実行委員会委員

飯能市アニメツーリズム実行委員会委員

【その他】

「芝桜まつり誘客効果調査報告書」(芝桜まつり実行委員会委託調査・2012年6月)

「平成24年度 寺坂棚田ホテルかがり火まつり 観光実態調査報告書」(横瀬町振興課委託調査・2012年11月, 7p.)

「アニメ『あの花』を活用した誘客イベントの集客効果に関する分析レポート(秩父アニメツーリズム実行委員会委託調査・2013年3月, 55p.)

「講義の一風景－エコツーリズム実践 I－」駿河台大学 HP(2012.07.11更新記事), http://www.surugadai.ac.jp/gakubu_in/gendaibunka/2012/07/post-150.html

「国内観光研修を実施しました」駿河台大学 HP, http://www.surugadai.ac.jp/gakubu_in/gendaibunka/2012/08/post-155.html

「アクティビティ体験とサービス提供－アクアボール－」駿河台大学 HP(2012.08.21更新記事), http://www.surugadai.ac.jp/gakubu_in/gendaibunka/2012/08/post-154.html

「授業の一風景－地域調査実践－」駿河台大学 HP(2012.11.23更新記事), http://www.surugadai.ac.jp/gakubu_in/gendaibunka/2012/11/post-163.html

「教育活動と地域貢献」駿河台大学 HP(2013.03.02更新記事), http://www.surugadai.ac.jp/gakubu_in/gendaibunka/2013/03/post-169.html

【現在の研究】

人文地理学

天野 武男

【翻訳】

Seisho Kyouiku (April-May-June): God's Anointed People

Lesson 9,10,11 (pp.25-33) Strengthen Me just Once More

Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 2012

Seisho Kyouiku (July-August-September): People God anointed

Lesson 22,23,24 (pp.25-35) Order the Ravens to Feed You There

Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 2012

Seisho Kyouiku (October-November-December): Those Who Walked with God

Lesson 36,37,38 (pp.25-33) You Are Christ

Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 2012

Seisho Kyouiku (January-February-March): People Who Served God

Lesson 49,50,51 (pp.25-33): You yourself Are my Letter: Paul's Calling

Japan Baptist Convention, Saitama, Japan 2013

【社会活動】

飯能市廃棄物減量等推進審議会会長（2011年1月より現在まで）

説教：「真夜中の讃美」使徒言行録16：25～34（2012年4月22日）所沢キリスト教会

説教：「苦しいときの神頼み」士師記11：1～11（2012年5月20日）所沢キリスト教会

説教：「宗教共同体から王制国家へ」1サムエル記8：1～22（2012年6月17日）所沢キリスト教会

説教：「クリスチャンに友情は不要！」2サムエル記9：1～13（2012年7月15日）所沢キリスト教会

説教：「国際結婚はダメ！キリスト教の教え？」1列王記11：1～13（2012年8月19日）所沢キリスト教会

説教：「死に際して何を神に願いますか？」2列王記20：1～11（2012年9月23日）所沢キリスト教会

説教：「イエスとの出会いと救い」ルカ15：11～32（2012年9月30日）前橋教会

説教：「神のみ手」ネヘミヤ記2：11～20（2012年10月14日）所沢キリスト教会

説教：「小さな舌の火が大きな森を燃やす」ヤコブの手紙3：5～12（2012年10月21日）韓国，チャム・チョウン教会

説教：「神さまからのメッセージは何ですか？」ヨナ書3：1～10（2012年11月11日）所沢キリスト教会

説教：「人生の主人公は誰ですか」マタイ1：18～25（2012年12月16日）所沢キリスト教会

説教：「クリスチャンにとって必要なものは何ですか」マタイ6：1～15（2013年1月20日）所沢キリスト教会

説教：「種をまく人とは誰」マタイ3：1～9（2013年2月17日）所沢キリスト教会

説教：「救いの確信と十字架」ガラテヤ6：11～18（2013年3月24日）所沢キリスト教会

【現在の研究テーマ】

新約聖書におけるパウロ書簡
ヨハネの黙示録に出る象徴的数字

市川 紀子

【著書】

上野清貴教授(監修)『簿記のススメ ―人生を豊かにする知識―』(共著)(2012年5月, 創成社)。担当部分は, 第2部第1章「簿記教育の淵源」(pp.109-123), 第2部第2章「大正期の簿記教育」(pp.124-132)。

【口頭発表】

『人生を豊かにする簿記』第3章 得た知識を応用する 第1節 投資で社会を元気にする」(2012年9月30日, 簿記教育研究会第34回研究会, 於全国経理教育協会会館)。

「スプローズ・ムーニッツと会計公準」(2013年3月2日, 日本会計研究学会スタディグループ(上野委員会)第6回研究会, 於明治大学駿河台校舎リバティタワー)。

【社会活動】

埼玉県公衆浴場入浴料金審議会委員

【その他】

孔炳龍教授・市川紀子(編著)『会計の匠』(共著)(2013年3月, 駿河台大学)。全体の編集・執筆は孔炳龍教授, 市川紀子。平成23年度特別研究助成費「会計学教育に係わる副教材(サブテキスト)の作成に関する研究」(市川紀子代表, 孔炳龍教授との共同研究)の成果。

平成24年度社会人基礎力育成教育助成費「入門演習の金融・会計分野(ビジネスとマネーコースに関連する)共通テキスト開発研究」(市川紀子代表, 湯浅由一教授, 孔炳龍教授との共同研究)

平成24年度特別研究助成費「新地方公会計制度に関する一考察―飯能市財務4表の分析を中心として―」(孔炳龍教授代表, 湯浅由一教授, 狩谷求教授, 市川紀子との共同研究)

【現在の研究テーマ】

学説研究による会計理論構築の探求

業種別簿記実務の研究

教養としての簿記に関する研究

財務会計論の理論基盤の研究

中心観を基軸とした計算体系の再検討

伊藤 雅道

【著書】

北山兼弘（編）『Co-benefits of sustainable forestry – Ecological studies of a certified Bornean rain forest』（共著）（2013年1月, Springer）担当部分は第4章「Effects of reduced-impact logging on decomposers in the Deramakot Forest Reserve」63-87

【口頭発表】

長谷川元洋・金子真司・清野嘉之・牧野俊一・伊藤雅道「福島県の森林におけるミミズの放射性セシウム濃度」（2012年5月, 第35回日本土壌動物学会大会, 於昭和大学富士吉田教育部）

長谷川元洋・川上和人・伊藤雅道・八巻明香・阿部真「小笠原西島におけるトクサバモクマオウ駆除が大型土壌動物群集に与える影響」（2013年3月, 日本生態学会第60回全国大会, 於静岡県コンベンションアーツセンター）

【社会活動】

環境省希少野生動植物種保存推進員

飯能市環境審議会委員

入間市環境審議会委員

天覧山谷津の里づくりプロジェクト委員

駿河台大学春の公開講座「加治丘陵の自然観察」, 講師（2012年5月, 於駿河台大学）

第1回いるま環境フェア, 展示解説（2012年6月, 於入間市産業文化センター）

駿河台大学秋の公開講座「加治丘陵の自然観察」, 講師（2012年12月, 於駿河台大学）

【その他】

伊藤雅道「ミミズ—森を支える働き者」（2012年7月, 『山林』1538号, 50-53頁）

伊藤雅道「クマムシ—身近にいる小さな怪物」（2012年8月, 『山林』1539号, 54-57頁）

伊藤雅道「土の中の生き物たちと環境」（2012年9月, 『埼玉新聞』9月22日）

【現在の研究テーマ】

大型陸生ミミズ類の自然史研究，里山生態系の生物多様性保全及び自然再生

井上 久士

【著書】

『平頂山事件資料集』（川上詩朗と共編者）柏書房，2012年9月，576頁。

『平頂山惨案研究（第三輯）』（傳波編）（共編）東北大学出版社，2012年9月。

『日本侵華与中国抗戦 — 有関史料及其研究』（臧雲祜・潘洵・周勇・徐勇編）（共著）

社会科学文献出版社，2013年1月，担当部分「抗日戦争時期日本の華北抗日根拠地に対する政策」175-180頁。

【学術論文】

「日本対海南島の占領与統治及21世紀的亜州」（2012年6月，『三重学院学報』第7期，96-98頁）。

「エドワード・ハンターの平頂山事件報道とその影響」（2012年9月，『戦争責任研究』第77号，2-8頁）。

「平頂山事件、『井上神話』の成立」（2012年12月，『季刊中帰連』第51号，47-54頁）。

【現在の研究テーマ】

日中戦争時期の中国政治史，近代日中関係史

岩熊 史朗

【現在の研究テーマ】

パーソナリティの基礎理論

海老澤 豊

【学術論文】

「スペンサーの『羊飼いの暦』」（2012年7月，『駿河台大学論叢』第44号，pp. 23-52）

「十八世紀英国における漁夫牧歌」（2013年1月，『駿河台大学論叢』第45号，pp. 27-54）

【現在の研究テーマ】

十八世紀英国における牧歌

太田 隆士

【社会活動】

- ・講演 「タウトの旧日向家熱海別邸とジャポニスム」
(2012年11月 NPO 法人日向家熱海別邸保存会主催, 熱海市他後援, 熱海・起雲閣・「ブルーノ・タウト 謎解きコンサート」と同時開催)
- ・DVD 「国指定重要文化財“旧日向家熱海別邸”公式紹介 DVD」(監修:熱海市, 熱海市教育委員会)
スクリプト執筆。(2012年8月)

【現在の研究テーマ】

- ・昔話・神話と深層心理学, ワイマール文化研究

大貫 秀明

【社会活動】

- 日本学術会議 健康・生活科学委員会
健康・スポーツ科学分科会関連協力学術研究団体連絡担当委員
- 舞踊学会常務理事
- 舞踊学会 投稿研究論文査読委員
- 日本体育学会体育哲学専門分科会 投稿研究論文査読委員
- 日本体育・スポーツ哲学会 投稿研究論文査読委員
- 舞踊学会 第64回学会大会 一般研究発表座長 (於:東京大学) 2012年12月
- 舞踊学会ニューズレター (編集委員長)
- 駿河台大学スポーツ教育センター長
- 埼玉県高等学校ダンスコンクール審査委員

【その他】

- 巻頭言 駿大スポーツ年鑑 第2号 p.1 2012年7月
- 報告 2012(平成24)年度 日本学術会議活動報告 舞踊学第35号 p.143
2013年1月
- 報告 2011(平成23)年度 舞踊学会 HP 委員会活動報告 舞踊学第35号
pp.146- 2013年1月

【現在の研究テーマ】

- 「介護, 介助の社会化時代」におけるからだの動きの理解と実践力の育成
- Rudolf von Laban 研究

大森 一伸

【学術論文】

大森一伸・奥本正「非エリートサッカー選手の体力特性と試合中の運動強度」駿河台大学論叢、第44号、111-120、2012.

大森一伸・奥本正「高強度運動後の動的回復中における血中乳酸除去と酸素摂取量の関係」駿河台大学論叢、第45号、145-154、2012.

大森一伸・目崎登「超音波 B モード法による大腰筋厚と股関節屈曲力の関係」日本臨床スポーツ医学会誌、Vol. 21、N01、149-156、2013.

【口頭発表】

大森一伸「動的回復中の血中乳酸濃度除去が高強度運動に及ぼす影響」第67回日本体力医学会大会、2012年9月、岐阜市

【現在の研究テーマ】

運動中に骨格筋で産生された乳酸の使われ方

岡田 安芸子（藤村 安芸子）

【学術論文】

「女三の宮の出家」（2012年11月、『季刊日本思想史』No.80、112-127頁）

「平安時代における女性の罪をめぐる言説の流布と変容－願文を起点として－」（共著）（2013年1月、『駿河台大学論叢』第45号、1-25頁）。担当部分はⅢ。

【現在の研究テーマ】

仏教を中心とした日本倫理思想史

櫻坂 英子

【著書】

『比較生活文化考』（2012年12月、ナカニシヤ書店） 監修は西田司・島岡宏。担当部分は第11章外国語学習と国・国民イメージ（共著）。

『スタディガイド心理学第2版』（2012年5月、ナカニシヤ書店） 編著は美濃哲郎・大石史博。担当部分は第11章 対人行動、第12章 文化と人間。

【口頭発表】

「撮影行為に関する心理学的検討2 —撮影デバイスと撮影行為との関連—」（2012年6月、第38回日本映像学会大会、於九州大学）。

「大学における日本語学習が対日イメージに与える影響」 (2012年8月, 日本語教育国際研究大会, 於名古屋大学)。

‘Reproducing the woman who does not work; An analysis of women’s Magazines and empirical data.’ (British Association for Japanese Studies 2012 conference. 6 -7 September (Friday) 2012, University of East Anglia Campus in Norwich, UK)

「大学2年生に対するキャリア教育科目の効果測定 I –CAVT (達成版) 得点の授業後における変化-」(2012年9月, 日本心理学会第76回大会, 於専修大学)。永作稔・北野裕理・岩熊史朗との連名。

「大学2年生に対するキャリア教育科目の効果測定 I –授業前後および追跡調査時点における CAVT (意欲版) 得点の比較-」(2012年9月, 日本心理学会第76回大会, 於専修大学)。北野裕理・永作稔・岩熊史朗との連名。

「大学生の日本語学習動機と対日イメージの検討:香港と中国間の比較」(2012年11月, 第9回国際日本語教育・日本研究シンポジウム, 於香港城市大学)

【現在の研究テーマ】

日本語教育に関する交叉文化的研究, 雑誌分析とジェンダー研究, 心理学史

A.R. Oberg

小俣 謙二

【学術論文】

「犯罪の予測可能性・対処可能性評価が大学生の犯罪リスク知覚と犯罪不安に及ぼす影響」(2012年, 社会心理学研究, 27, 174-184)

「The relationship of sexual victimization to risk perception of Japanese female college students.」(2012年, 『駿河台大学論叢』44, 143-154.

【口頭発表】

「男子大学生の性犯罪被害者に対する見方と痴漢・セクシュアルハラスメントの実行可能性」(2012年9月, 日本心理学会第76回大会, 於, 東京, 専修大学)

「性犯罪被害者非難をもたらす要因に関する心理学的研究」(2012年11月, 日本社会心理学会第53回大会, 於, つくば, 筑波大学)

「大学生における dating violence 被害」(2012年9月, 日本犯罪心理学会第50

回大会，於，大正大学)

「元受刑者の地域への受け入れに対する住民意識の調査研究」(渡部栄と連名)
(2012年9月，日本犯罪心理学会第50回大会，於，大正大学)

「仮想場面を用いた攻撃行動の研究」(岩佐綾子と連名)(2012年9月，日本犯罪心理学会第50回大会，於，大正大学)

【現在の研究テーマ】

暴力と攻撃行動ならびに地域防犯活動に関する犯罪社会心理学的研究

川邊 讓

【著書】

「犯罪に挑む心理学 Ver. 2」共著 北大路書房

【社会活動】

内閣府子ども・若者育成支援推進点検・評価会議構成員

人事院試験専門委員

日本心理学諸学会連合理事

日本犯罪心理学会常任理事・常任編集委員

日本矯正医学会評議員

公益財団法人日本人事試験研究センター専門委員

裁判員裁判のための対人援助専門職

飯能市市民大学講座講師 1 回

飯能市教育委員会研修会等，各種研修講師 8 回

飯能日高C T V放映12回

【その他】

「関係性へのまなざし」名少友の会だより第121号

【現在の研究テーマ】

- 1 犯罪・非行を巡る諸問題
- 2 心理臨床実践を巡る諸問題

木塚 隆志

【現在の研究テーマ】

近世ヨーロッパにおける終末思想，神秘思想

清海 節子

【学術論文】

“How are ureshii and tanoshii different?---An investigation of the synonymous adjectives from the perspective of their antonymous relationships using corpora”

(2012年6月: <http://www.sussex.ac.uk/english/research/projects/linguisticspapers>)

「日本と英語のなぞなぞ比較（１）－反義語を中心に－」（2012年7月：駿河台大学論叢（44），pp.87-110）

「日本と英語のなぞなぞ比較（２）－反復用法を中心に－」（2013年1月：駿河台大学論叢（45），pp.77-113）

【現在の研究テーマ】

意味論，遊びことば，ネーミング

久我 晃広

【社会活動】

「コーチの役割・制度」（2012年9月，平成24年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技）

「ホッケーの技術」（2012年9月，平成24年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技）

「競技力（国内・国際）の情報収集と分析・活用」（2013年1月，平成24年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技）

「ゲームの分析とその実際」（2012年1月，平成24年度財団法人日本体育協会公認コーチ養成講習会ホッケー競技）

【その他】

女子ホッケージュニア日本代表チームジュニアアジアカップ 第4位 女子ホッケージュニア日本代表チームコーチ タイ・バンコク 2012.06.27-07.07.

【現在の研究テーマ】

ホッケー競技におけるゲーム分析

黒田 基樹

【著書】

古河公方と北条氏〈岩田選書・地域の中世12〉(岩田書院)平成24年4月(総頁196)

頁)

小田原合戦と北条氏〈敗者の日本史10〉(吉川弘文館)平成25年1月(総頁244頁)
戦国期山内上杉氏の研究〈中世史研究叢書24〉(岩田書院)平成25年2月(総頁364頁)

伊勢宗瑞〈シリーズ・中世関東武士の研究10〉(編書, 戎光祥出版)平成25年2月(総頁381頁)

足利基氏とその時代〈関東足利氏の歴史1〉(編書, 戎光祥出版)平成25年3月(総頁190頁)

戦国遺文房総編第3巻(共編書, 東京堂出版)平成24年5月(総頁304頁)

【学術論文】

里見義豊の政治的地位(里見氏稲村城跡をみつめて(5))116-121頁,平成24年4月

初期の上総武田氏をめぐって(千葉史学(60))160-169頁,平成24年5月
中近世移行期研究の到達点と教科書記述(東京の歴史教育(41号))57-74頁,平成24年8月

北条氏の陸上交通政策(馬の博物館研究紀要(18))19-35頁,平成24年10月

【研究ノート】

史料紹介・上杉房顕文書集(駿河台大学論叢(44号))163-174頁,平成24年7月

【社会活動】

関東戦国史における里見氏(里見氏城跡「国史跡」記念のつどい・講演とシンポジウム(館山市))平成24年4月

北条早雲と鎌倉,そして玉縄城(玉縄歴史アカデミア連続セミナー(鎌倉市))平成24年6月

小田原北条氏と羽柴秀吉(「古文書を読む会」開設講座(神奈川県立公文書館))平成24年7月

飯能・入間の戦国時代(豊岡プチ大学(駿大ふれあいハウス))平成24年7月

後北条氏と関東 3回(新座市栄公民館歴史講座(新座市))平成24年10月

戦国の合戦と忍城(行田市郷土博物館公開講演(行田市))平成24年10月

永禄七年の国府台合戦(千葉県史講演会(千葉市))平成24年10月

長尾景春と戦国時代(渋川市赤城公民館生涯学習講演会(渋川市))平成25年3月

【その他】

関東動乱と三浦氏（新横須賀市史通史編自然・原始・古代・中世（横須賀市）
539-604頁，平成24年5月

【現在の研究テーマ】

日本中近世移行期社会論

孔 炳龍

【現在の研究テーマ】

①減損会計②包括利益と純利益③リース会計④非財務情報の有用性⑤会計社会学

【論文】

「経営者財務会計行動論序説」『商学論纂』（中央大学），第54巻，第6号，2013年，pp.57-83.

「包括利益と純利益の有用性に関する理論的考察 - 一般意味論からのアプローチ - 」『経理研究』（中央大学）第56号,2013年，pp.251-263.

【その他】

平成24年度特別研究助成費「新地方公会計制度に関する一考察—飯能市財務4表の分析を中心として—」（孔炳龍代表，市川紀子准教授，湯浅由一教授，狩谷求教授との共同研究）

狐塚 賢一郎

【社会活動】

飯能市「健康・体力づくり市民会議」委員

飯能市社会教育委員

埼玉県ラグビーフットボール協会 大学部会広報委員

大学体育連合埼玉県支部理事

日本コーディネーショントレーニング協会監事

飯能市立保育所（11保育所）巡回コーディネーショントレーニング教室（前期11回・後期11回）（2012年5月～7月，2012年10月～2013年2月）

飯能市立小中学校 養護教諭研修会「コーディネーショントレーニング体験会」（2012年7月29日（金））

飯能市教職員組合 しゃべり場・まなび場 in Hanno③「コーディネーショントレーニング」（2012年11月13日（火））

飯能市立精明小学校 平成24年度学校保健委員会並びに PTA 家庭教育学級合同
講演会「子どもの体とコーディネーショントレーニング」(2013年2月8日(金))

飯能市児童センター「コーディネーショントレーニング」(2013年3月30日(土))

【現在の研究テーマ】

コーディネーショントレーニングによる幼児、高齢者の運動能力、コミュニケーション能力向上

コーディネーショントレーニングによるラグビーの競技能力向上

小林 将輝

【社会活動】

講演「昔話の構造」(2012年4月, 小澤昔ばなし研究所主催市民講座「宮崎昔ばなし大学」)

公開講座「観光の力～思索力～」(2012年11月, 駿河台大学公開講座「市民の大学Ⅳ」)

公開講座「語られてきた物語—昔話の特徴とメッセージ」(2013年3月, 山梨子ども図書館主催「子どもの本の専門家養成講座」)

【その他】

雑誌記事「グリム兄弟の足跡をたずねて(21)-(23)」(2012年4月, 10月, 2013年1月, 小澤昔ばなし研究所発行『子どもと昔話』51, 53, 54号)

【現在の研究テーマ】

ドイツ旅行文学, グリム童話, 観光の理論

小林 奈穂美

【社会活動】

旅行産業経営塾実行委員およびOB会役員

公開講座「市民の大学Ⅳ」“観光の力～人財力” 12月1日

模擬授業「観光と交通」 7月30日駿河台大学オープンキャンパス

【現在の研究テーマ】

観光産業における人材育成

低学年向けキャリア教育の手法と教材開発

五味 久美子

【社会活動】

NPO 法人埼玉児童思春期精神保健懇話会理事

【その他】

「臨床心理士へのことはじめ3」(2012年)

【現在の研究テーマ】

心理療法, 心理検査

佐古 年穂

R. Sawazaki

【学術論文】

【社会活動】

代表, Rainbow Families, Bilingual education study group for international families in Gunma and Saitama.

駿河台大学公開講座楽しく学ぶ英語 B “Travel English ; Touring the world”

9月15日と9月22日

“English Fluency Training Applications for Extensive Reading Collections” ,
駿河台大学論叢, 第45号, 2012, pp. 115-143.

【現在の研究テーマ】

英語教育: 外国語教育法と教材開発

観光事業およびホスピタリティ専門英語 (English for Specific Purposes)

島原 知大

【学術論文】

「ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』における登場人物の相関関係 [II]」(2012年7月, 『駿河台大学論叢』第44号, pp.53-86)

【現在の研究テーマ】

19世紀末イギリス文学 (特にオスカー・ワイルド), 映画, 英米演劇

角田 京子

【社会活動】

「臨床心理学入門」(2012年12月, 出張講義, 東京都立第四商業高等学校)

【現在の研究テーマ】

統合失調症のアンビヴァレンスやアウェイクニングなどの精神病理学研究
エドヴァルド・ムンクの女性像についての病跡学研究

竹中 彌生

【口頭発表】

講演:「豊かな言葉, 英語の歴史と成り立ち - なぜ英語は世界共通語になったのか -」
於駿河台大学(故郷喜楽学) 24年6月2日

【現在の研究テーマ】

ジョン・アーデンの演劇理論
ロンドンに於けるオスカー・ワイルド: 作品と街, 人物との関係
16世紀以後のキリシタン文化と日・欧交流の比較文化的研究
幕末から明治初期の日・欧交流の比較文化的研究

仲田 洋子

長尾 建

【現在の研究テーマ】

日本近現代詩・評論の研究(特に高村光太郎、雑誌「新領土」について)

信岡 奈生

【著書】

『ボリビアを知るための73章』【第2版】真鍋周三編著, 明石書店, 2013年。(分担執筆53章「ウルクピーニャの聖母の祭り」, 54章「ウィランチャ」, 55章「オルロのカーニバル」)

【社会活動】

「アイマラのトドス・サントス」(『さまざまな死の表象』南山大学ラテンアメリカ研究センター主催フォーラム, 2012年3月23日)

【現在の研究テーマ】

中央アンデスの宗教

朴 昌明

【学術論文】

「李明博政権下の韓国労使関係(韓国経済システム研究シリーズ No.24)」(2013年2月, ERINA Discussion Paper No.1301 (環日本海経済研究所), pp.1-20.)

「韓国の自営業労働市場に関する一考察」(2013年2月, 『駿河台法学』第26巻第2号, pp.77-101)

【口頭発表】

「世界金融危機以降の韓国労使関係に関する一考察」(2012年6月23日, ERINA 韓国経済システム研究会, 於早稲田大学)

【社会活動】

リクルートワークス研究所におけるプロジェクトの編集協力(プロジェクト名「アジア9カ国の人材マーケットベジックリサーチ」の韓国部門を担当)

【現在の研究テーマ】

韓国の人的資源管理・労働経済

長谷川 順一郎

【口頭発表】

「日本のホスピタリティ教育の現状と課題」

フロリダインターナショナル大学 ホスピタリティ・ツーリズム経営管理学 産学協働研究会 日本支部会 ワークショップ (2012年8月31日, 於ホテルオークラ東京)

【現在の研究テーマ】

ホスピタリティ論, 観光学

林 好雄

【現在の研究テーマ】

十九世紀フランス文学

原 聰

【学術論文】

「司法事故調査」的事例研究への心理学的アプローチ(2) —足利事件における

虚偽自白生成及び発見失敗に科学鑑定が与えた影響を中心に 『法と心理』
12,p.45-49.

【口頭発表】

Confirming Feedback Effect for Confidence Judgment on the Delayed
Photograph Lineup Identification. *International Congress of Psychology 2012*

帝銀事件における同調実験の位置づけ ワークショップ「供述分析と心理学実験
のコラボレーションー帝銀事件における心理学的官的を中心に」 法と心理学会第
13回大会

【社会活動】

西川材フェア実行委員

駿大・地域フォーラム運営委員

飯能市教育委員会学習林活用教育推進事業 森林実習指導

【その他】

識別後フィードバックが遅延写真識別の確信度に与える影響及び二重盲検法の基
礎的研究

文部科学省科学研究費補助金・新学術領域「法と人間科学」中間報告書
p.53-54.

ヨーロッパ裁判視察記 1, 2 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域「法と
人間科学」 News Letter vol. 2, vol 3.

【現在の研究テーマ】

自白と目撃証言の心理学

土方 幹夫

【学術論文】

野外活動における温暖化減少傾向について

経済論集第22巻2号 p27～p37 2012・3

【研究ノート】

冬季野外教育活動の事故発生状況と安全管理について

駿河台大学論叢 第40巻 p179～p193 2012・3

【社会活動】

NPO 法人新潟水辺の会理事

野外教育研修センター主宰

財団法人日本安全カヌー協会（JASCA）顧問

日本 CUMAS・JCI 潜水指導者連盟委員

日本子ども冒険クラブ主宰

いるま川筋文化ネットワーク代表

～20012年3月

障害者支援組織「トリプルA」顧問

【現在の研究テーマ】

野外活動を通じた自然認識カリキュラムの開発

車椅子カヌーの開発

平井 純子

【学術論文】

エコツアーガイドの現状とその課題～北海道・知床を事例に～(2012. 7,駿河台
大学論叢44巻, pp.121-142)

【社会活動】

しれとこ100平方メートル運動推進関東支部員

飯能市エコツアーリズム推進協議会 委員

飯能市エコツアーリズム活動市民の会 会員

駿大・地域フォーラム運営委員

もったいない kids 植林プロジェクト 理事

飯能市教育委員会学習林活用教育推進事業森林実習指導（2012年10月9日 加
治東小学校2, 3年生）

いま、「協同」が創る2012全国集会 分科会「森と暮らしをめぐる旅」パネリスト
ト（2012年11月18日）

秋の公開講座 市民の大学Ⅳ 「観光の力～体験力～」(2012年12月8日)

エコツアーの企画・実施

「道草ハイク」(2012年8月1日)

「飯能リバーウォーク～大人の川時間～」(2012年8月18日)

「駿大の里山 森の「香」と「食」癒しのエコツアー」(2012年9月29日)

「飯能の土で湯のみづくり～春の焼きもの体験～」(2013年3月17日)

「大人のじぶん磨きツアー～春の里山でアロマ体験～」(2013年3月27日)

FM 茶笛 出演 (2013年3月30日)

【その他】

森林文化ブログ「駿大の森から」<http://blog.goo.ne.jp/shinrinbunka-satoyama/>

【現在の研究テーマ】

エコツーリズム，地図学，観光地理学

廣野 行雄

【社会活動】

講演「私の中国体験からみた日中関係」2012年12月15日，豊岡プチ大学

【現在の研究テーマ】

晩年の魯迅と中国共産党との関係

檜皮 貴子

【口頭発表】

「バランスボードを用いた転倒予防体操によるステップ動作の変容について」
(2012年8月，日本体育学会第63回大会，於東海大学)

「GUT【ぐらぐら(GURAGURA) トントン(TONTON)】体操における内省調査と転倒不安感尺度の変化について」(2012年9月，日本体操学会第12回大会，於北海道教育大学)

「積極的にバランスボードを傾ける転倒予防体操の試案-傾斜動作と踏み出し動作の変化に着目して-」(2013年3月，日本コーチング学会第24回大会，於広島大学)

【社会活動】

(財)日本体操協会 一般体操委員会普及部委員

日本体操学会 理事

日本ラート協会 技術部委員

上野の森ラート教室 指導員

2012年度夏期ラート講習会(学生対象)指導員(2012年8月27日～28日)

2012年度春期ラート講習会(一般対象)指導員(2013年3月9日～10日)

【その他】

第18回全日本ラート競技選手権大会 女子斜転の部1位(2012年12月，つくばカピオ)

ラート演技ゲスト出演：第10回福岡県体操祭(2012年10月14日，アクション福岡)

2012日本体操祭出場(2012年11月25日，国立代々木競技場第1体育館)

【現在の研究テーマ】

高齢者を対象とした転倒予防体操の考案
体づくり運動の教材開発

マーティン・A・フォールズ

【現在の研究テーマ】

狩野派代表者であり、越後地方で活躍した徳川幕府の表絵師狩野梅笑（1727-1807）の様式と、その影響から離れようとした梅笑の弟子で仙台藩御用絵師の東東洋（1755-1839）の様式とを比較する。

社会的な急変化を見せた化政時代の中で絵師達が一人一人の個性をどのように表現したかの研究。全国的に徐々に広がり人気を得た「新」円山四条派の代表者の一人として、東海道、中山道、京都、丹後地方で活躍した鈴木南嶺（1775-1844）の様式の説明をすることが研究の一番の目標。

福田 二郎

【現在の研究テーマ】

20世紀英国小説・ヨーロッパ思想研究

福永 昭

【現在の研究テーマ】

タイ国における旅行関連法規に関する研究

星川 熙

【現在の研究テーマ】

物理基礎論，エネルギー資源論

本間 邦雄

【研究ノート】

「ポール・ヴィリリオ『ブンカー・アルケオロジー』についてのノート」（2012年7月、『駿河台大学論叢』第44号，pp.175-188）

【現在の研究テーマ】

現代文明とフランス思想，比較思想

前山 加奈子

【学術論文】

『女性改造』誌からみる日中両国の女性観——1922年～1924年——」（2013年3月、『駿河台経済論集』第22巻第2号，pp.39-66）

【口頭発表】

＜从《女性改造》杂志看的日中两国的女性印象＞（2012年9月，第二届中国近代社会文化史国际研讨会，於中国・北京，北京首都师范大学历史学院）

【社会活動】

講演「東アジアにおける文化的特徴」（2012年11月17日，駿河台大学公開講座『彩・ふるさと喜楽学』）

【現在の研究テーマ】

中国の民国期における女性雑誌からみる社会文化思想

増田 久美子

【学術論文】

「消されたエリナの賃金——ハリエット・ビーチャー・ストウとローラ・タウンにみる黒人女性の家内賃金労働をめぐる——」『駿河台大学論叢』第45号（2012年11月），55-75頁。

「ドメスティシティの模倣と懐疑——『ゲーリー家と友人たち』における家庭的人種暴動」『言語社会』第7号（2013年3月），293-310頁。

【現在の研究テーマ】

19世紀アメリカの女性作家と「家庭性」の研究

増田 珠子

【現在の研究テーマ】

イギリス演劇（ノエル・カワードに見る「ホーム」と「アウェイ」の相克——大英帝国から福祉国家英国へ），児童文学，児童演劇

邑木 隆二

【学術論文】

「駿河台大学における体力測定傾向と推移 —平成16（2004）年から平成23

(2011)年までの8年間の報告ー」(2013年1月、『駿河台大学 論叢』第45号, pp.155 - 167 共著)

「体幹部トレーニングにおける筋電図学的研究 ～体操競技における専門的トレーニング方法に着目して～」(2013年3月、『大東文化大学 紀要』第51号 共著)

【社会活動】

公開講座(春)「ウォーキング一歩先へ」第1回 6月2日(土)担当

入間市陸上競技教室開催 9月 第1週・第2週

入間市ウォーキング教室・ランニング教室・レクリエーション教室 開催

【現在の研究テーマ】

総合型地域スポーツクラブの存在意義・存在価値および存在効果についての考察
陸上競技クラブ(実業団・クラブチーム・学校部活動)におけるより良いマネジメント方法についての考察

コーチング(陸上競技)

門馬 幸夫

【現在の研究テーマ】

文化と差別イデオロギー・柳田國男・ハーバーマス

山本 耕一

【翻訳】

スラヴォイ・ジジェク『終焉の時代に生きる』(2012年12月20日, 国文社)

【現在の研究テーマ】

スラヴォイ・ジジェク of 思想

油井 恵

【学術論文】

"The function of address terms in English and Japanese: Analysis using scenarios." 2012, *IAPL Journal*. Vol.1, pp. 59-73. International Association of Performing Language.

【社会活動】

「バイリンガルって何？」(平成24年度 春の公開講座 「彩・ふるさと喜樂学」
2012年5月26日)

【その他】

「言語を学ぶこと－「英語文化論」を例に」（駿河台大学現代文化学部サイト，2012年2月27日）

「授業の一風景－「演習Ⅰ・Ⅱ」から卒業研究へ－」（駿河台大学現代文化学部サイト，2013年1月16日）

【現在の研究テーマ】

言語とカテゴリー認知

吉住 知文

【学術論文】

「社会・地歴・公民の授業作り－授業目標，教材研究，授業構成－」（2013年2月，『國學院大学教育学研究室紀要』第47号:99-113）

【その他】

Visiting Fellow: Green Templeton College, University of Oxford(客員研究員)として，イギリスにて在外研究

【現在の研究テーマ】

インド森林政策史

開発教育

吉野 貴順

【社会活動】

- ◆ 日本フロアボール連盟常任理事(国際委員長・アンチドーピング委員長兼任)
- ◆ アジア／太平洋フロアボール連合理事

【フィールドワーク】

- ◆ 2012年5月「第5回世界学生フロアボール選手権大会(チェコ・プラハ)」
日本選手団団長・監督(6位)
- ◆ 2012年12月「2012男子世界フロアボール選手権大会(スイス・チューリッヒ)」
日本代表チーム監督(15位)
- ◆ 2013年2月「2013アジア／太平洋フロアボール選手権大会(韓国・ポジョン)」
日本代表チーム監督(2位:2013世界フロアボール選手権大会出場権獲得)

【現在の研究テーマ】

- ◆ スピードスケート競技選手の体力と競技力との関係

- ◆ フロアボール競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究

吉野 瑞恵

【著書】

『源氏物語と儀礼』武蔵野書院，2012年10月（共著，担当箇所は「紫の上をめぐる儀礼—儀礼の対象および主体という観点から—」 pp351-369）。

【学術論文】

「平安時代における女性の罪をめぐる言説の流布と変容—願文を起点として—」（岡田安芸子・松岡智之との共著）『駿河台大学論叢』第45号，2013年1月。

「大正期を生きた池田亀鑑—「知」と「感」の相克の背景—」『日本文学』第61巻第5号，2012年5月。

【書評】

増田裕美子・佐伯順子編『日本文学の女性性』思文閣，2011年刊（『ジェンダー史学』第8号，2012年10月）。

【その他】

（項目執筆）『名歌名句大事典』明治書院，2012年5月。

【現在の研究テーマ】

平安時代における女性の罪をめぐる言説の流布と変容に関する研究（岡田安芸子，松岡智之との共同研究）

和歌および日記文学における「公」と「私」の関わりについての研究

吉松 梓

【学術論文】

邑木隆二，吉松梓「駿河台大学における体力測定の変遷と推移—平成16（2004）年から平成23（2011）年までの8年間の報告」（2013年1月，『駿河台大学論叢』第45号，155-167項）

【口頭発表】

「不登校生徒の長期冒険キャンプにおける体験の意味について—思春期における「身体性」に着目して—」（2012年7月，日本野外教育学会第15回大会，於沖縄）

【現在の研究テーマ】

野外教育，自然体験療法

渡辺 裕子

【学術論文】

「東日本大震災におけるボランティア行動－埼玉県西部地域の統計調査から－」
(単著) (2012年9月, 『経済研究所所報』第15号, pp.99－118)

【社会活動】

「消極化する高校生・大学生の性行動と結婚意識」(2013年3月20日, 東京性教育研修セミナー2013)

【現在の研究テーマ】

社会福祉におけるタイムスタディ調査の応用

若者の行動と少子化に関する研究

震災による市民活動の変化に関する研究